

第 6 回 3 市共同資源化推進市民懇談会 議 事 録

日時 平成 20 年 9 月 16 日（火） 午後 1 時～5 時

場所 小平・村山・大和衛生組合 3 階 大会議室

1. 出席者

寺嶋座長、後藤副座長、遠藤委員、小林委員、白水委員、中村委員、林委員、原田委員、鈴木委員、霜出委員、平本委員、山岐委員

[事務局] 戸井田事務局長、市川課長、片山課長補佐、乙幡主査

[コンサルタント] 4 名

[傍聴者] 0 名

2. 議 事

(1) 開会

・寺嶋座長から開会の挨拶

(2) 事務局確認事項

[事務局(片山課長補佐)] 事務局より 3 点ほどご連絡等させていただきたい。1 点目、委員の欠席について、近江委員が所用のため本日欠席である。2 点目、資料について、資料 1、資料 2 は皆様に事前配布しているが、当日配布資料を 4 つ配布している。1 つ目は前回の資料要求事項の整理番号 39、40 番に対応する補足資料としてコンサルが作成したものであるため、後ほどご確認いただきたい。また、この懇談会に対して意見書をいただいております。別紙 1 は、「三市ごみ連絡会」からの意見書である。さらに、別紙 2 と別紙 3 が対になっており、市民からいただいた別紙 2 に対する事務局からの回答を別紙 3 にお示ししている。以上が議事次第に示した当日配布資料である。その他、「環境データを」というご要望に対し、インターネットで入手した多摩市および相模原市の測定結果を配布している。また、懇談会の要望には特になかったが、これからの議論の参考としていただくため、多摩地区全体のごみに関するデータが整理された「多摩地域ごみ実態調査」を配布した。最後に 3 点目。第 5 回懇談会の議事録(案)であるが、訂正等がなければ承認していただきたい。

[寺嶋座長] 議事録(案)について、ご覧になっていただけたと思うが、修正、変更、削除等はあるか。

(異議なし)

[山岐委員] 別紙 2 の意見書には、2 枚目があるのではないか。

[事務局(市川課長)] 確認して、もしあれば配布させていただく。

[寺嶋座長] 別紙 2 に対して別紙 3 で回答を出しているが、別紙 1 の回答はあるのか。それぞれの意見書に対して回答をするのか。

[事務局(市川課長)] 別紙 1 については、特に回答を求められていないため、参考として皆

様に配布させていただいた。

[事務局(片山課長補佐)] 別紙 2 は不足があったため、今、コピーして皆様に配布させていただく。

[霜出委員] 別紙 3 の文章の下の方にある、「循環型ごみ処理施設検討懇談会」とはどのようなものか。

[事務局(片山課長補佐)] 清掃工場の建替計画の時に検討いただいた懇談会である。

[原田委員] 別紙 1 について、「三市ごみ連絡会」はどのような団体であり、この市民懇談会とはどのような関係であるのか。また、本懇談会の進め方として、傍聴者の発言は認められないが、書面によって意見を提出することが認められているとされていたと思うが、この別紙はそれに該当するものなのか。基本的な事項であるが伺いたい。

[事務局(片山課長補佐)] 「三市ごみ連絡会」とは、構成 3 市それぞれにごみ関連の市民団体があり、それらが 1 つにまとまって学習会等の活動を行っている団体である。おそらく任意団体だと思われる。

[原田委員] そのような団体から市民懇談会に意見書が添えられることは、どのように取り扱えば良いのか。

[事務局(市川課長)] 本懇談会では、循環型社会をどのように形成していくか、幅広く意見をいただくという立場にあり、今回の意見書も 1 つの参考になるため、意見書をいただくことは良いことと考えている。

[林 委員] 私も三市ごみ連絡会の関係者であるが、本日はワークショップ形式で議論するので、傍聴席から内容を把握することが困難であるため関係者が傍聴に来ていないが、前回まではいつも傍聴に来ていた。その中での質問・意見である。

[原田委員] 傍聴者が書面を提出されたということであれば理解できる。どのような団体なのか、そしてそのような団体からの意見をこの懇談会でどのように取り扱うかについて疑問があった。それから、代表者と回答先が違っているが、その関連は。

[事務局(市川課長)] 別紙 1 と 2 は別の方からのものである。別紙 1 については特に回答を求められていないので参考として配布し、別紙 2 については回答を求められているので回答案をつけたところである。

[原田委員] 了解した。

(事務局より別紙 2 の続きを配布)

[寺嶋座長] 最終的にはこの懇談会で報告書をまとめるということになるが、「えんとつ」の発刊が 9 月に早まったということで、これまで懇談会で議論してきた大きな課題に対して、市民からも意見を受け付け、できるだけ報告書の中に取り込み、反映させたいというスタンスであるため、市民が参加する委員会として、意見を受け付けてもよいのではないかと思う。今、別紙 2 の続きも配布されたので差し替えていただきたい。事務局からの報告に対する意見等は他にあるか。

[山岐委員] 地域住民の何人かから意見が出されていると聞いているが、現在来ている意見書はこれだけか。

[事務局(市川課長)] このほかに 3 件ほど意見書が来ているが、取り扱いについてまだ協議が整っていないため、配布していない。

- [小林委員] 市民の意見を取り入れるという点について、9月の東大和市議会の一般質問の中で、「市民懇談会の意見は尊重されるべきであり、でなければお金をかけて市民懇談会をやった意味がない」という質問に対し、ごみ減量課の方が最初の答弁で、「市民懇談会で意見を取りまとめる」と言った後に、「市民懇談会は市民の意見を聞く場であり、取りまとめない」と訂正した。現場の責任者が発言を訂正したということで、本当に市民の意見が尊重されるのか不安になるという方もいる。再度確認するが、報告書作成時には多数決で意見を絞らずに、小数派の意見も必ず取り入れて記載していただくという意味で、「取りまとめない」ということなのか。
- [寺嶋座長] 報告書のまとめ方については、大方の人が賛同しているものに対しても、何人かの方が反対することもあると思うので、少数意見も併記してまとめるのが良いのではないか。どこまで意見を収束することができるかは、議論してみないとわからないが、どうしても意見が分かれる時は、それらを事実として報告することで良いのではないか。
- [後藤副座長] 議会での答弁に関して、この懇談会に聞かれてもわからないことであり、議会がこの懇談会の取りまとめ方を指示することは無いのではないか。取りまとめ方は、懇談会のメンバーで考えるべきである。どういう意味で答弁したかという点については、答弁した方に聞いてもらうしかない。この懇談会の報告書をどのようにまとめていくかという点については、座長が話したようなまとめ方で良いと思う。その点について、議会に左右されるものではないと考える。
- [山岐委員] 小林委員の発言のとおり、私も9月市議会での質疑応答はそのようであったと聞いているが、まだ議事録が公表されていないので応答の主旨を市議会に確認してみる。
- [後藤副座長] 会議の取りまとめ方については、座長がまとめたとおりで良いのではないか。
(異議なし)

(3) 議題

第5回懇談会のワークショップ結果について

- (コンサル(志賀)から資料1「第5回3市共同資源化推進市民懇談会ワークショップ結果報告」の説明)

- [寺嶋座長] 今の説明に対して、意見や質問はないか。
- [小林委員] 19 ページ、「市担当者へのインセンティブ付与」のインセンティブは、動機付けではなく奨励金等という意味でのインセンティブか。
- [コンサル(志賀)] 17 ページに当日意見の一覧表を示しているが、「自治体に求める役割」の左側、上から4段目に、「市民の意識改革の工夫(市担当者評価システム)」という意見がこれに該当する。これは、市民が市担当者进行评估するシステムを作ることと、市担当者の動機付けにつながるのではないかと、という意見である。
- [寺嶋座長] 表現の問題であるが、10 ページ、「生活の原始化」について、もう少し上手い言い方はないか。「LOHAS」の方が良いのでは。それから、「法案提示」とあるが、「法案」となると国会でしか提示できない。容器包装リサイクル法は強制法ではないと前回お話ししたが、市の条例で3市の仕組みを作るなどの方法もあるので、表

現として、「新法制度の提示」はいかがか。

[山岐委員] 表記の件であるが、この懇談会では皆さんよくご存知であると思われるが、「3R」という表現は、この懇談会の外に出ると、何のことかわからない方が多い。もう少し日本語で簡潔に表現する方法が良いのではないか。今回の報告書に限らず、パンフレットや市報についても言えることであるが、市民が一見してわかるような表現としていただきたい。そして、もう1つ確認であるが、あと3件意見書が出ているとのことであるが、回答の用意に時間がかかり、今回は出せないということか。

[寺嶋座長] 最初のご意見について、「3R」の日本語での表現は、できるだけ調整する。

[山岐委員] 思いつきで恐縮ではあるが。

[片山課長補佐] 2点目の意見書については、座長宛てに提出されているので、本日、座長に確認していただいた上で対応を考えたい。意見書の趣旨は、「こういう意見があるので、懇談会の委員の方々に周知をしていただきたい」というものである。

[山岐委員] 回答を付けて、次回出していただくということか。

[事務局(市川課長)] その扱いを含め、今調整中である。

[山岐委員] 第1回の時に配布された「市民懇談会の進め方(案)」では、そのような意見は委員全員に配布するというので、特に調整や回答の話は書かれていないが。

[事務局(片山課長補佐)] 内容から察すると、出す、出さないというよりも、懇談会の委員の皆様伝えて欲しい、という意見書が座長宛てで出されている。その意見書を座長がまだ見ていないので、まだ判断ができない状況である。

[後藤副座長] 懇談会への書類等の提出については、座長と協議して取扱うということで、議事録にも記載したと思うが。

[山岐委員] 懇談会の進め方(案)には、そのようなことは明記されていない。

[寺嶋座長] 私は皆様に配布する方針であるが。

[山岐委員] 第2回の懇談会配布資料の懇談会の進め方では「(案)」が取れているが、そのようなことは書かれていない。

[寺嶋座長] 本日、読ませていただき、皆様に配布する方向になるかと思われる。

[霜出委員] 「市民懇談会設置要項」の第7条には、「座長が必要であると認めた場合は、委員以外の者から意見を求めることができる」と書かれているが。

[林 委員] 今の「意見を求める」という趣旨は、ここへ呼んでこの場で発言をすることを座長が認めればそれも可能であるという意味ではないか。傍聴者等の意見について、文書として出してもらえれば、参考資料として配布する、ということであったと思うが。

[寺嶋座長] 今ある意見については、早速見させていただき、お配りするようにしたい。

[後藤副座長] 24 ページ、事業者のところ「外部経済」となっているが、「外部不経済」ではないか。確認をお願いしたい。

[コンサル(志賀)] 確認する。

[中村委員] この時に参加しておらず申し訳ないのだが、26ページの有料化に対する意見について、ここで議論した「有料化」がごみ処理費用全ての話なのか、それとも袋代の話なのか、どこまでの議論であったのかわからないが、どのような有料化に

ついて議論したのか、前置きがないとわからない。

[後藤副座長]そこまで踏み込んだ議論はしていない。一般的な家庭ごみの有料化に関して、賛成・反対の意見があるという程度のものであり、手段や方法については議論していない。

[林 委員]これだけ大きな議題は、B グループだけで出された意見を、懇談会の意見としてまとめるのは危険だと思う。報告書に委員の意見としてまとめるには、A グループの追加意見・反対意見等も出していただきたい。

[後藤副座長]詳細な中身までは議論していないので、賛成・反対の両方の意見があるというところまでは、了解を得られるのではないか。

[中村委員]このまとめの取り扱いは、今後のさらなる議論へのステップとしての参考程度に考えて良いのか。

[後藤副座長]そのように考えていただきたい。

[寺嶋座長]懇談会は今後も何回か開催するので、皆様から意見を出していただき、加筆、修正してまとめていく。

重点課題4（3Rの拡大に向けた適切な分別・収集方法）の解決方針について

[寺嶋座長]それでは次の議題へ移りたいと思う。重点課題4について、テーマ1とテーマ2に分けてワークショップをする。先にコンサルより説明をお願いしたい。

（コンサル（志賀）から資料2「ワークショップ参考資料」の説明）

[寺嶋座長]今回は、この2つのテーマについてのワークショップを全員でやるのか。

[コンサル（志賀）]前回同様に2グループに分かれていただき、前回と同じメンバーで行うこととしている。テーマに関しては、両グループとも同じテーマについて議論していただく。

[寺嶋座長]グループ分けは資料1に書かれている。では準備を。

（2グループに分かれて、ワークショップ形式での議論）

（4）その他

[寺嶋座長]その他の議題として、1点目、多摩市主催の「環境シンポジウム」映写会について、先日エコプラザ多摩を見学に行った際に記事を配布したが、プラスチックを圧縮した時の化学物質の問題を含め、多摩市でも色々と問題になり、学者・専門家の方々を入れた形で環境シンポジウムを開催した。それを撮影したDVDが貸し出されており、DVDの上映時間は3時間である。土日のどちらか1日に開催したい。また、参加は、懇談会委員に限定せず、ご覧になりたい方は、この会場に来ていただくことにしたい。

[事務局（片山課長補佐）]土曜日の午前中でいかがか。

[寺嶋座長]土曜日の午前中ということで、いかがか。自由参加として、委員に限らず興味のある方に参加していただきたい。

[事務局（片山課長補佐）]多摩市では平成20年4月から現在のようなプラスチックの資源化を開始している。シンポジウムは、それに伴い市民にプラスチック資源化の安全性を理解いただくため開催されたものである。生活の中でプラスチックとどのよ

うに向き合うべきかを目的し、副題は「生活環境とリスク、プラスチックと化学物質について」、基調講演とパネルディスカッションで構成されている。内容は、当時国際連合大学副学長であった安井至先生が基調講演を、パネルディスカッションは大学教授3名、環境ジャーナリスト1名が参加し、コーディネーターを安井先生がされている。懇談会主催ではあるが、興味のある方には会場に入れる範囲内で一緒に見ていただきたいと考えている。

[寺嶋座長] 3時間となると、9時半から12時半位か。

[事務局(片山課長補佐)] そのようになる。日程については、次回の第7回懇談会から施設についての議論に入るので、できればその前の土日、9月27、28日あたりを考えている。なお、周知の手段としては、組合のホームページにも掲載するが、できれば皆様から声を掛け合って、興味のある方に参加していただきたい。

(日程調整の結果、9月28日(日)9時半からに決定)

[事務局(片山課長補佐)] ではDVDを借りて準備させていただく。

[寺嶋座長] 2点目、懇談会の日程はどのようにするか。

[事務局(片山課長補佐)] 当初のスケジュールでは、第7回懇談会が9月下旬、第8回懇談会が10月上旬の開催予定となっており、2回分の日程を調整させていただきたい。

(日程調整の結果、第7回懇談会10月7日(火)13時から、第8回懇談会10月28日(火)13時からで決定)

(5) 閉会

3. 配布資料

事前配布資料

- ・資料1 第5回3市共同資源化推進市民懇談会ワークショップ結果報告
- ・資料2 ワークショップ参考資料

当日配布資料

- ・補足資料 有料化及び東京都廃プラスチック区分・処理施設関連資料
- ・別紙1 「第3回懇談会議事録についての意見書」9月2日付
- ・別紙2 「3Rの受け皿となる施設のあり方」9月7日付についての意見書
- ・別紙3 同上「意見書への回答」平成20年9月12日付(事務局回答)

(補足資料は、懇談会資料要求一覧 No.2 整理番号 39・40 に対応)